

## 緊急アンケート

### ▶ アクティブラーニング実施校

2015年10月中旬に首都圏私立中高一貫校290余校を対象にアンケートを実施し、10月22日までに返信のあったものを掲載しています。(五十音順)

### Q. 貴校でアクティブラーニングなど、いわゆる21世紀型学力養成を取り入れている授業にどのようなものがありますか？

#### 足立学園

対象学年：中学3年

科目：技術

教員名：高田昌輝（タカダマサキ）

特色：企業インターンワーク

本校の技術では、積極的に自信を持って表現できる生徒の育成（Aceプロジェクト）を目指しています。

企業インターンワークでは、大手企業より課題をもらい、ブレスト、マーケティングリサーチ、組み立て、発表を行い、企業より評価を受けます。この課題を2回こなし、最後に1年を通して何を得たのか、何が成長したのかをレポートにまとめます。

プレゼンに関しては、中学1年時よりTED. talksやプレゼンテーションZENを教材として学びます。また、問題解決能力向上として、本年度中学2年生は、ダイソン財団の問題解決ワークを学びました。

#### 市川

##### ●市川サイエンス（高2理系）理科

→自ら課題を発見し、実験研究して実験スキル、発表スキルを磨く

→英語によるプレゼンテーションを実施

##### ●市川アカデメイア（高2希望者）

→対話型セミナー。古典の哲学者をテキストとして、自由な対話の構築によって主体性、協調性に基づくコミュニケーション能力を磨く

##### ●リベラルアーツゼミ（高2文系）

→主体的に学ぶゼミ形式の少人数授業

①エンパーメントサロン

②TED×Ichikawaをやろう！

③アートとヒーローで体感する英語史

④芸術史のミステリー探訪

<p>⑤食から世界を謎解き</p> <p>⑥小論文入門</p> <p>⑦Offshore Asia から考える近現代のしくみ</p> <p>⑧「信じる」こと「祈る」こと「ゆだねる」こと</p> <p>など多くの教科・学科で取り組んでいます。</p>
<p><b>上野学園</b></p>
<p>本校では、現中1より様々なAL型授業に取りこんでおります。</p> <p>・「上野公園フィールドワーク」(独自科目)</p> <p>学校からすぐ近くにある上野公園を舞台に課題解決型学習を行います。中1では「サイエンスプログラム」、中2では「ソーシャルプログラム」として、生徒たちは自ら設定した課題を、実際に足を運んで調べます。調べたことは、グループでまとめ、プレゼンテーションを行います。</p> <p>・「Trip to Asakusa」(英語)</p> <p>浅草で海外の方に英語でインタビューを行います。英語で話しかける勇気、自分の英語が通じた喜びが、その後の英語への学習意欲の向上、グローバルな視野が広がるきっかけになると考えられます。</p> <p>・「ひとり一つの楽器」(総合的な学習の時間)</p> <p>フルート、クラリネット、サクソなどの6つの楽器から各自1つの楽器を選び、3年間でアンサンブルを目指します。人が奏でる音に耳を傾ける「傾聴力」、人と音を合わせていくことで「調和力」、「思いやりの心」が育ちます。</p>
<p><b>浦和明の星女子</b></p>
<p>現在、特別な授業・行事は行っておりません。</p>
<p><b>桜美林</b></p>
<p>中1～高1；英会話の授業、発話中心の授業を行っています。</p>
<p><b>鷗友学園</b></p>
<p>中1 地理 巡検 オーストラリア調べ学習</p> <p>中2 歴史 ナポレオンの調べ学習</p> <p style="padding-left: 40px;">関が原の合戦の当事者だったら</p> <p>中3 現社 探究学習</p> <p>HR クエスト(企業のミッション)をチームで解決していく</p> <p>中3 理科 これは何か(化学)</p> <p>中2 物理 自分たちで実験を考える(音・光)</p> <p>高1 生物 自分たちで実験を考える(カエル) 他</p>
<p><b>大妻</b></p>
<p>●理科(中高) 今年度よりタブレットを導入し、既成のアプリを使って授業を行います。</p>

- 世界史（高1）ジグソー法を使い、史料を用いて歴史を組み立てる授業を行いました。
- 倫理（高1） 学期に各2回、課題学習（討論）にグループワークで取り組んでいます。

### 大妻多摩

本校は系列大学を持つが、毎年ほとんどの生徒が受験で他大学に進学する受験校である。ただ、単に入試問題を解いて解説する旧来の指導を行っていない。入試問題を使いながらも4技能を統合し、ICTを活用して生徒が自分たちで考え、主体的に活動して発表するアクティブラーニング(AL)を目指して、私の選択 O.C.の授業(高校2～3年生対象)では、高3の2学期に2年間の指導のまとめとして、以下の探求型ALを行っている。

1) まず、「貧困、開発、環境破壊」を扱った大学入試問題をリーディングとリスニングの素材として授業で活用する。授業では「考えを英語で書いたり発表する」ことを重視。

2) 4～5人の小グループで架空の開発企業を作らせ、架空の島の開発プロジェクトを作って発表するプロジェクトワークを企画した。その際、上記の授業内容を資料として活用させた。

3) 生徒達はグループで独自の開発プロジェクトを考案し、CALL 教室を活用しながら自分たちのイメージに合う画像をネットから取り込んで PowerPoint のスライドを作成し、Word で原稿を作成した。

4) 発表では開発企業の代表として、役割分担をして英語でそれを説明した。最終的には、島民になってどの開発プロジェクトが一番優れていたかを投票で決めさせた。

※生徒のプレゼンを写したDVDがあります。楽しそうに英語で立派なプレゼンをする生徒の姿から、ICTを活用した4技能統合のアクティブラーニングが、受験指導の中でも活用できることが伝わります。

### 大宮開成

プレゼンテーション教育（中1～高1）

中1（地球環境）、中2（日本文化）、中3（異文化）、高1（比較文化）それぞれのテーマに沿って、グループ研究、まとめ、発表へと学習を進めていきます。

グループ研究—中1の理科1コマ、中2・3の社会1コマを国際理解教育プレゼンの時間として、学習研究を進めていきます。

フィールドワーク—特に中2～高1は「フィールドワーク」として奈良・京都研修（中2）、国際交流キャンプ（中3）、オーストラリア語学研修（高1）において、事前研究の内容を深め、「まとめ」につなげていきます。

<p>プレゼンテーション—文化祭、開成文化週間でグループ研究のまとめを発表します。特に開成文化週間では全員がパワーポイントを駆使し、内容のみならず発信方法も工夫します。</p>
<p><b>開成</b></p> <p>本校は授業のかなりの部分が <b>interactive</b> であり、実物重視、議論重視のスタイルで、AL をとりたてて今さら意識することはありません。一例として国語（現代文）森教諭の昨年度の実践例を挙げます。</p> <p>例) 中3 現代文・森</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を読み、その読む過程で自分たちが何をしているか、メタレベルでの仮説を立ててプレゼンする。</li> <li>・学期で1つのテーマを定め、様々な題材を、グループやクラスで読み、鑑賞・解釈する。</li> <li>・クラスで問いを決めて行う「哲学対話」</li> </ul>
<p><b>開智日本橋学園</b></p> <p>中学1年 哲学対話（道徳） 土屋陽介教諭</p> <p>クラスのみんで輪になって答えの無い問いに対して考える。結論を出す必要は無く、自分でしっかり問いの答えを考えることで</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①物事を柔軟に考えられるようになること、</li> <li>②自分を知ること、</li> <li>③問題を見つけ、コミュニケーションを通して解決すること、</li> <li>④深く考えるための方法や姿勢を学ぶこと、</li> </ol> <p>などを目的としています。</p>
<p><b>海陽</b></p> <p>海陽 TED／当校英語教育では「コミュニケーション力」を重視（Show&amp;tell の側面も含めて）し自分の考え・意見を堂々と英語で発表できる事を目指しています。その観点から、昨年より「海陽 TED」（Kaiyo technology entertainment design）という独自プログラムをスタートさせ、主に中学より英語をはじめて学んだ生徒が、英語「コミュニケーション力」および「プレゼン力」を発表する場として展開・活用しています。対象学年は中・高全学年、現状は正規授業外の活動としていますが、教員（含ハウスマスター）、フロアマスター（企業からの出向者）学内バックアップを得て、協働推進しています。今後の発展、期待大です。</p> <p>※主担当は元・晃華学園、現・当校 HM の外山先生です。</p>
<p><b>学習院女子</b></p> <p>アクティブラーニングの定義は色々あると思いますが、本校の教育方針として、元々主体的に学ぶことはどの教科もしております。</p>

<p><b>片山学園</b></p> <p>中学2年 理科 望月尚志</p> <p>現在、天体（惑星）を学習中ですが、太陽系惑星の直径と太陽からの距離を Excel で計算させ、10億分の1に縮小して直径と距離の相関を体感させました。また、この単元は興味、関心が高い生徒が多いため、教科書に沿って単元ごとに担当者、担当グループを決めて、指導案の作成の後、生徒⇄生徒の関係で授業を行います。</p>
<p><b>神奈川学園</b></p> <p>まず基本的に各授業の中で、さまざまな形でアクティブラーニング的な取り組みは行っています。</p> <p>●中学の例</p> <p>国語・社会の各種テーマ・グループ調べ学習      数学の協働学習的グループワーク      理科（中学3年間で100実験を行い、そのレポート作成      英語（クラスを3グループに分けての英会話</p> <p>また、中学3年国内FWで「答えの出ない問題」に関して考察、議論、レポート等      沖縄…戦争と平和、基地の問題      水俣…人間の尊厳、経済成長とその中で犠牲にされたもの      四万十川…自然との共生と過疎の問題      奈良・京都…文化財保護と利便性との折り合い</p> <p>●さらに高校1年海外研修でも。      世界が抱える問題～全体学習からレポート      世界の現代史と宗教間の争い（世界の宗教をめぐる情勢を考える、日本の宗教性に関するレポート、発表等）      世界の格差をめぐる問題      アメリカ→「世界の未来」をハーバード生と語り合う→事前ディスカッション、プレゼン等、イギリス方面でも「学問の意義」「世界の未来」をオックスフォード大生と語り合う      イタリア→芸術と「食」の視点から文化を問いなおす      イタリア料理を学び、実際に作るなどの実体験を通し、イタリアの人生観を知る 等</p> <p>●高校2年「探求」→一人ひとりが自分でテーマ設定      →類似のテーマの生徒を集めた小グループでディスカッション、共通テーマで意見交換、レポート作成、発表</p>

### カリタス女子

●中学2年、高校2年「英語コミュニケーションⅡ」（金丸紋子教員）

グループワークを円滑に、且つ、効果的に行うための下準備として、協同学習を日々の授業の中に取り入れています。

グループのメンバーと協力しながら課題に取り組んだり、英文のルールを見つけ出したりします。

また、長文を4分割して、ジグソー法で「責任持って仲間に教える」「仲間から教わる」形での学習を進めることもあります。

英語という教科教育を通じて、英語力は勿論、人間性、**Social Skill**、**Communication Skill** の育成にも意識を向けています。

生徒たちは、概ね協同学習ベースの授業展開に前向きな姿勢です。英語で **Group Discussion** も積極的に取り入れることで、英語を英語で学ぶスタイルになっています。

●中学2年「社会（歴史分野）」（五十嵐卓司教員）

信長・秀吉・家康の特徴を整理するため、ペアワークやグループワークを行い、その際に思考の型（「Cause and Effect」や「Compare and Contrast」）を示したワークシートを用いるとともに、「教科センター型」運営方式を活用した授業を行っている。

●高校1年「物理基礎」（黒瀬卓秀教員）

課題を提示し、グループごとに討論させ、意見分布をとり、議論の上、実験での結果を確認し、どの考えが適切だったのか、まとめ（確認）をするスタイルである。

### 神田女学園

「脳がアクティブな状態、つまり生徒が考えている状態を作り出す授業」を本校でのアクティブラーニングと位置づけ、グループワークやプレゼンテーションに限らず、生徒が主体的に考え行動できる力を養う授業を個別学習や一斉授業の中でも取り入れ、学校全体としてアクティブラーニングに取り組んでおります。

いくつか具体例を上げますと、①理科では様々な器具を用意し、その中から実験に適した必要な器具を生徒たちが考えて使用するような実験の授業や、②国語で行った、自分自身に関することを新聞形式にまとめる「自分新聞」の授業では、他の人にも分かりやすい表現やレイアウトを考えさせながら作品を作り、③英語の授業で文法問題を扱う際には、説明をしてから問題を解くのではなく、問題を解かせ分からない所を認識させてから説明を行うなどしています。

また、中学1年生のグローバルクラス対象の「プロジェクト学習」の時間では、問題提起・話し合い・リサーチ・まとめ・発表、という一連の流れの中で問題発見力・コミュニ

<p>ケーション能力・段取り力・持続力などを養う授業を行っております。1年の前半では、様々な国の文化や民族などを調べ、大使館を訪問し、まとめたものを文化祭で発表しました。</p>
<p><b>北鎌倉女学園</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中2 歴史の発表学習</li> <li>・高2～3 日本史 今泉先生の協働型学習</li> <li>・高2 Communication 英語 山本先生のスキル型・協働型授業</li> <li>・中3 国語 発表型授業</li> <li>・高2～3 物理 協働型授業</li> </ul>
<p><b>共立女子</b></p>
<p>●中1～中3（全クラス実施）：ブックトーク（国語）：夏の課題図書を読んで見つけたテーマをもとに、関連する本を探して、クラスで一人ずつ発表する。読解力だけでなく、発想力やプレゼンテーション能力も養う。また、コメントシールの交換により、他者からの評価を学ぶことができる。</p> <p>●授業ではありませんが、2007年から、国・社・理を中心とした合科型の「特別教養講座」を長期休暇に希望者対象で実施しています。</p>
<p><b>公文国際学園</b></p>
<p>本校におけるアクティブラーニング（21世紀型学力養成）授業について、一部を紹介します。</p> <p>対象：高校1年生</p> <p>科目：総合的な学習（プロジェクトスタディーズ）</p> <p>教員：高校1年生担当教員および情報科教員</p> <p>特色：生徒の興味・関心を出発点にしながら、課題を発見し、研究テーマを設定し、計画を立て、実行し、結果をまとめ、考察し、表現するという過程を通じて、主体的に学ぶ力を身につける授業です。早稲田大学や北里大学の教授などから研究テーマに対して助言を得ながら研究・探究活動を行っている生徒もいます。</p> <p>このプロジェクトスタディーズの活動は、本校の総合学習の流れの4年目に位置づけられており、グループでの探究活動などから個人研究の活動のステージとなっています。テーマ設定、中間発表、仮説、検証、ポスター発表、論文作成など、1年間の活動を通して、科学的リテラシー、探究心、表現力などの力を向上させる生徒主体の活動です。</p>
<p><b>慶應義塾中等部</b></p>
<p>現段階では際立った取り組みは行っておりません。</p>
<p><b>京華</b></p>
<p>中学1～3年で総合学習の一環として「探求科」という学習を進めています。テーマを決めてグループで調べ、発表をしていくのですが、最大の目的は中学3年で行くマレーシ</p>

アへの研修旅行の準備や総括です。学園祭での発表や中2の終わりにはプレゼンの大会があります。

#### 恵泉女学園

①中学3年生対象 国語（メディア）では、NIE（Newspaper in Education）をとり入れ、新聞を用いた情報分析から、グループでの学内新聞づくりをしています。またテーマを決めて、ディベートも行います。

②中学3年生（及び4年生の集中授業）では高校で必修の「情報と社会 A」を前倒しで学び、メディアリテラシーを中心として、グループでプレゼンテーションを学びます。

③数学科では中1代数の授業で、クラスを2分割し、少人数で生徒が考案した問題を集めて練習プリントを作成したり、高3の数Ⅲの授業でも、解放についてグループ（少人数クラス）で検討する機会があります。

④高1・高2の夏期課題である英語スピーチをクラス内でグループ予選を行うことも毎年続き、今年度で学内スピーチコンテストは40周年です。

⑤中1対象の社会「世界の国調べ」では、グループでメディアセンター（図書館）の資料を使って調べ学習をし、グループで発表したものが、生徒の教科書代わりのプリント教材になります。

⑥高2対象の選択授業「時事問題研究」では、グループで時事問題のテーマを設定して発表し合う授業です。

このように、本校ではコース制ではなく、授業選択性を採用しているため、少人数のゼミ形式の授業が多いため、アクティブラーニングを取り入れた授業形態を以前から続けて来ております。

#### 啓明学園

いろいろな教科で行っています。（社会、理科、英語他）

その中で、高3・国際理解の科目（関根真理教諭）ではICPを使って世界の女性の教育についての大切さを学んでいます。ネット上でスカイプし世界の人達といろいろとやり取りをしています。

その中でもカンボジアと連携しアクションを起こしています。

#### 光塩女子学院

##### ●「教養演習」対象学年 高2

国語科の学校設定科目で、小論文チームを中心とする複数科目の教員による、学科横断型・双方向型の授業。生命倫理・異文化理解・環境問題や哲学などのテーマについて基礎的な知識を培い、考える力を涵養する。昨年度よりクリティカルシンキングも導入。

この教科自体は15年前から実施している。

##### ●高2 英語 特別講座「How do you say it in English?」

身近な日本語を英語でどのように表現するかをクラス全体で考える。最近の話題は『女



子力』。この言葉を英語でどう説明するか、議論した。

●中2 理科 特別講座「試行錯誤で楽しむ理科」

授業では扱えない実験や、提示されたお題に対してアイデアを出し合って、実際に自分の目で見て手を動かして、実験の成果をまとめる。学期ごとに1つ、2つのテーマについて試行錯誤を楽しむ。

●中2～高3 社会 新聞ノート

実際に起こった出来事について、要約することで状況を把握・俯瞰し、その後どうしてそうなったのか、どこに問題があるか、など分析をする。さらに、自分ならどのように解決していくか、を考え、意見としてまとめる。自分が気になる出来事について長期的に追っていく中で、おのずと好きなこと、興味のあることに気づくきっかけもなっている。

●高3 数学 発表形式の演習授業

自分の解いた問題をプレゼンテーション形式で仲間に伝える。頭で理解したことを他者に等身大で伝える訓練になる。

教員名につきましては、誰という特定の教員ではなく、学校全体で取り組んでいます。

**晃華学園**

21世紀型のアクティブラーニングに該当するか異論はあるかもしれませんが、教科や行事（学校、学年など）を教科横断的・複眼的に学ぶ「カトリック総合学習プログラム」を実施しています。

（例）ホロコースト教育→（「アンネの日記」を中2、国語の課題図書で読み、「ハンフのかばん」（ユダヤ人虐殺に関する講演会）を聞いてポートフォリオを記し、中3の宗教でV.E.フランクル『夜と霧』について考える、など、成長段階に合わせて、学びを深化／進化させます。

**麴町学園**

①「みらい科」（キャリア教育）～しなやかな対応力を備えた女性の育成～

本学園では、現在、キャリア教育プログラム「みらい科」（中1～高3）において、全教員が組織的に行い、クリティカルシンキング、女性学・レジリエンス教育を柱に、自立した女性の育成を目指しています。

そのひとつとして、中3から高1の2年間で、一万字の研究論文を作成しています。こちらはゼミナール形式でディスカッションの場が充実し、アクティブラーニングを行っています。データ収集をはじめフィールドワーク、研究発表を通し、課題解決能力・プレゼンテーション能力を高めています。もちろん、社会で活躍する女性（作家・宇宙飛行士・外国の大使・オリンピックのメダリストなど）をお招きしての講演会、また職業体験なども実施しています。

なお、2016年度は高大連携のプログラム（授業）も展開していく予定です。

## ②授業における「思考型学習」

各教員が自発的に、アクティブラーニング型の学習を導入しています。

そして、2016年4月より「思考型授業」と銘打って、全教員が全教科・全科目において、アクティブラーニング型学習を授業に導入します。また、その全授業の研修（振り返り）をシステムチックに実施します。

※具体的には、思考型授業は、全科目、原則一単元1回以上というかたちの導入を義務づけており、内容についても、クラスや担当教員により大きな差異がないよう、教員個人ではなく教科単位で授業案の作成を義務づけて共有化を図っています。この授業案には、事前の過程学習課題の内容（反転授業等）も含まれます。

実施対象については、6年後の全学年実施を目指し、初年度の平成28年度は中学1年生の授業案の策定を進めています。また、グループワークを実施する場合は、その形体を学年ごとにある程度統一することにより、50分を単位とする授業の中でも効率よく思考型学習が行えるように工夫しています。

そして、思考型学習が効果を上げているかどうかの振り返りも授業実践と同等に重視し、個人による振り返りに終わらぬよう、研修システムという組織的な活動の中で行う予定となっています。

なお、英語教育では、「アクティブイングリッシュ」と銘打って、ICTツールを活用し、音声活動やアクティブラーニング型の学習活動を増やし、4技能を身につけた生徒を育成します。なお、プログラムの監修は（財）実用英語推進機構代表理事の安河内哲也氏で、特別講義も担当します。英語科はチーム一丸となってメソッド・教材を共有し、中・高6年間で「使える英語」をマスターします。

## ③グローバルプログラム

今後、求められる力として、「使える英語」をマスターするだけでなく、異文化理解、多様な人々と協働することも不可欠です。

そこで、既存の留学制度（AFSの1年間海外留学制度・3ヶ月海外留学制度）や語学研修（中3～高2の希望者対象のニュージーランド語学研修希望者）に加え、2015年9月にインターナショナルラウンジ（休み時間や放課後にネイティブと会話し、様々な国の留学生と交流する部屋）を校内に新設。

2016年には、中学2年次にアイルランドへの語学研修、中学3年次（GA・SAコース）には3ヶ月の海外留学・国内留学（ブリティッシュヒルズ宿泊研修・イングリッシュキャンプ・AFS留学生との交流など）希望者対象のインターネット英会話など、新たな取り組みをスタートします。

<b>校成学園</b>
<p>高1</p> <p>iPad を1人1台導入、"ロイロノートスクール"ソフトを用いて数学での問題演習、英語の英作文、国語の文章構成、社会での探究で使用、思考を共有し、最良の解答を導くことに役立てています。</p>
<b>校成学園女子</b>
<p>①中学校の英語に関する授業</p> <p>②高校のコミュニケーション英語関係</p> <p>③高校スーパーグローバルクラス特設英語</p> <p>④高校スーパーグローバルクラス国際文化</p>
<b>香蘭女学校</b>
<p>現在、このような授業はありません。今後、研究検討の上導入していく予定です。</p>
<b>國學院大學久我山</b>
<p>●国語…各単元、授業内容に従って、グループで調べ学習、発表随時。高1ディベート授業を実施。</p> <p>●英会話…プレゼンテーション、グループディスカッションを実施（外国人講師5名勤務）</p> <p>&lt;合教科型&gt;</p> <p>●社会、国語…中1、地域探訪（久我山周辺（寺院通り、玉川上水、吉祥寺）の散策、レポート作成、発表（中1～高3生参加 英語で説明する地域探訪実施）</p> <p>●社会…中3修学論文、一年かけて論文レポート作成。優秀作品は文化祭で発表（パワーポイントを使っのプレゼンテーション）。中3公民では、グループ学習の形態（授業中にテーマを決め、話し合い発表随時）</p> <p>●理科…中学3年間で実験、レポート作成100回以上。夏休み自由研究各自発表。</p> <p>●中学2年～高校2年生対象「留学生との交流プログラム」年数回</p> <p>●中学2年～高校2年生希望者、関西方面校外学習、事前調べ学習、発表、事後発表（伊勢、京都、奈良方面）</p>
<b>国際学院</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板とiPadを同期させ、他者の回答を確認しながら授業をする 等</li> <li>・卒業研究の作成と、代表者によるプレゼンテーション</li> </ul>
<b>駒込</b>
<p>本校では中高共に現在、タブレット端末を利用した授業展開等、ICT教育の本格導入に向けて準備を進めるのと平行して、現在展開できるものとして電子黒板や、可動式プロジェクターを利用した授業を実施しています。</p> <p>中学では3学年共英語、国語、社会といった文系科目を中心にプロジェクターから投影される画像やスライドを通じて、理解や習得における視覚的な効果や利点を与える材料</p>

として積極的に利用しています。生徒もテンポ良い展開の中で、考える時間や生徒同士、担当者とのインタラクションする時間も増えてきている様子です。

インターネットを利用した学習にも着手し英文法の授業を展開するようになっています。予め教科書に沿った教材を作成して、生徒はそれを各家庭でPC（スマートフォンでも）を使って予習をしてから授業に臨むという形式です。復習と発展を兼ねた授業が展開できるばかりではなく、何よりいつでもどこでも何度でも繰り返し学習ができるところに定着度を高める上での大きなメリットがあると言えます。

この他にも中1からオールイングリッシュ授業を取り入れるなど、学習効果が期待できる指導について積極的に取り組んでいます。

#### 埼玉栄

「骨太の人間を育てる」ために「四兎を追え」（学業・部活動・学校行事・他を思いやる心）というスローガンを掲げ、この4つに主体性と創造性をもって取り組んでおります。

- ①異なる学年と一緒に学ぶ第二外国語（独・仏・西・中・韓）／中1～高3
- ②各教科併合型授業（英語による理科）／中1～高3
- ③キャリア教育（英語での講演：通訳付）／中1～高3

#### 埼玉平成

全校をあげて、生徒が主体的・能動的に授業に取り組むよう、視覚教材を多用し、グループによる発表学習に取り組んでいます。

特に2020年の大学入試改革に向け、中1には徹底して授業改革を行い、専門組織を立ち上げて授業を展開しています。

現在それを牽引しているのは社会科の本多です。

また、経営感覚を身につけさせるため、コンピュータシミュレーションプログラムを導入しています。

#### 栄東

- ①中2 社会（日本史） 山崎大輔、タイラーホープ

例) 幕末の日米修好通商条約の締結をテーマに、幕府高官や薩摩藩、農民など7班に分かれそれぞれの立場での米国への要求を準備・発表

- ②高1 物理 斎藤皓之

例) 制限時間20分で、A4紙10枚で約30センチの幅に橋を作成して架け、強度テストを実施し評価

- ③理科学研究部 荒井賢一

例) 関東大震災の被害や復興等に関して調べ、論文にまとめる

- ④⑤高1、高2 土曜講座

例) ラジオボイスレコーダーの営業マンが商品をPRするという設定でプレゼンテーション

<p><b>品川女子学院</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教科で課題解決型学習を導入。毎時間ではありませんが、全教員が、そのような授業スタイルも組み合わせて指導しています。</li> <li>・高1、高2は全員がiPadを所持して、授業や行事、家庭学習で活用。</li> </ul>
<p><b>渋谷教育学園渋谷</b></p> <p>*中1～3 科目名「表現」(国語科教員全員)</p> <p>特色:毎週2単位で実施。インタビュー記事の作成・パネルディスカッション。スピーチ・プレゼンテーション・ディベートなどを、主にグループワークを用いて実施。開校以来20年間にわたり続けている。ほかの授業や学校行事における、生徒のアクティブラーナーとしての基礎を築いている科目ととらえている。</p> <p>*高1 英語 「Hiroshima Project」(高1担当英語科教員)</p> <p>特色:高1の10月の広島研修とリンク。さまざまな文献(英文)を、さまざまな活動(例:ジグソーリーディング・ディベート等)を通して理解し、Hiroshimaについて複眼的に知る【同時に国語・現代社会の授業でも扱っている】。並行して、米国の小中高生に広島を紹介する冊子をグループで作る。</p> <p>具体的な動き:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①研修に行く前の企画</li> <li>②現地での観察・取材</li> <li>③帰ってから東京外大の退学院生(多国籍)に数回きてもらいフィードバックをもらいながら仕上げる</li> <li>④米国の提携校に送り、先方の生徒たちに審査してもらう</li> </ol> <p>*中1～高3 「数学」(近藤義治)</p> <p>特色:示された問題を個人で解き、解法についてグループで議論。生徒はグループを移動することも可で、わかった生徒が説明し、クラスで共有できるようにする。基本的に教員は解答を示さない。</p> <p>*中1～高2 春期・夏期・冬期の講習「やる気を出す国語教室」(河口竜行)</p> <p>特色:コーチングの要素を取り入れ、意欲の側面を伸ばしていく具体的な方法を学ぶ、学年を越えたメンバー構成の講座。ペアワーク・グループワーク・全体でのゲームなどを通して、目標設定の方法や、学力のとらえ方を学ぶ。</p> <p>【産業能率大学出版部刊「現場ですぐに使えるアクティブラーニング実践」に実践例として所収】</p>

## 十文字

I 期（中 1・中 2）…入門期（自分を客観視するために、自分を知ること、他者を知ること  
に重きをおく）

第一段階として、身近な事柄をモチーフにして、ディベートやプレゼンテーションのル  
ールややり方を実につけ実践する。

（校外学習、国語科授業、上野動物園見学会、スピーチコンテスト自己紹介など）

同時に、グローバル世界で生きていくために、日本文化の形と心を知る機会を設ける。

（作法・茶道・華道・箏曲の実践）

II 期（中 3・高 1）…応用期（自分の将来を考えるために、集団の中の役割を考えること、  
視野を広げ将来の目標を探ることに重きをおく）

第二段階として、社会問題をモチーフとし、ディベートやプレゼンテーションの手法を  
応用し、職業探訪や海外研修、体験学習などに生かす。

（職業探訪、社会化授業イスラム世界、数学科校舎実測、国語科授業戦争問題、人権問題・  
環境問題、スピーチコンテスト「日本をよくするには」など）

同時に、世界を知る。（海外研修）

III 期（高 2・高 3）…発展期（希望進路を実現するため、目標達成に向けて情報収集・自  
己分析をすること、進路実現を図ることに重きをおく）

最終段階として、自ら課題を考え、設定し、意見を組み立てて他者と協力してディベ  
ートやプレゼンテーションを実践する。

（保健体育科臓器移植、原発問題、再生エネルギー問題、自由課題でスピーチコンテ  
スト、志望理由書の作成、面接の実践など）

教員名：飯島・和田

## 淑徳

中 3 国語 岩瀬

横断的にグループ構成を組み、各自のミッションを追及しながら読解を深める。少なく  
とも 2 回以上のグループを横断する。

高 2 現代文 安居

夏目漱石「こころ」の読解時に、グループをテーマごとに再編成を繰り返しながら、最  
終的に、作品のテーマを決定し、プレゼンする。

中 3 社会 河井

中 1・2 から積み上げてきた研究の成果を卒業文集に掲載する一方、コンピュータを使

って下級生にプレゼンする。

## 高2 英語 マイケル

留学し帰国した生徒に、各国ごとに日本の文化との違いについてプレゼンする。講堂にてコンピュータを利用した映像発表。

※授業科目を英語比較文化論として開講している。高校1年8月から2年6月末までアメリカ・カナダ・イギリス・オーストラリアなど4カ国計25校の中から1年留学をしている。留学類型として1クラス44名(単願)として募集をして、本年26年目の歴史がある。それぞれの留学先の国・都市・地域の文化や歴史、社会制度、また、留学先の学校やホームステイの様子を発表しながら、日本文化などとの比較文化論として、国ごとにオールイングリッシュでプレゼンテーションをしている。

アクティブラーニングの試みは、毎時間、構造的に行われるというより、授業内の一部に、その手法を用いて行っているのが実情です。パートナーと進捗状況を確認する時間を設けたり、英語の時間などに、二人組になって話す側や聞く側を作って話させるなど、単元として実施というわけではありません。

## 淑徳与野

アクティブラーニングの要素を含む「キャリア教育」に今年度より本格的に取り組んでいます。

このキャリア教育は従来の職業研究・体験といった枠組みでとらえられるキャリア教育の範囲を大きくとらえ直し、「自分の強みや想いを掘り下げつつ、社会にいかに関与するかを考える」教育として位置づけています。

本年度はすでに中1・2生、高1生に実施しています。その中心的取り組みである「インパクト体験棚卸し」は、自分の人生で体験した出来事の中で特に印象に残っていること、自分自身の行動や考え方に強く影響を与えたと思われる出来事(インパクト体験)を振り返ってみるという作業です。

## 聖徳学園

本校では、今年から中学1年生全員がiPadを持って入学をし、また学校管理で60台配備されており、各授業においてICTを用いたアクティブラーニングの授業が展開されるようになりました。

アクティブラーニング習慣というものを学内に設定し、高校2年までの全学年に1週間の期間が割り当てられ、その週ではアクティブラーニングを意識した授業を行うという取り組みもしています。

なお、アクティブラーニングセンターという委員会を設立し、そのメンバーを中心にアクティブラーニングの勉強会なども職員会議の際に行っています。

各教科にアクティブラーニングにおける中心教員を委員のほかに置き、研究授業・見学

<p>後アンケートなども行いながら授業改革をしている最中です。</p> <p>アクティブラーニングセンター長は英語科の小野という教員が務めています。</p>
<p><b>湘南学園</b></p> <p>本校ではESD(=持続可能な開発のための教育)の推進を目指し、「教科」と「統合学習」の横断型授業を進めています。現在中学3年秋に行われる研修旅行を取り上げる、①「村・町おこし」に取り組む山口県・周防大島に向けて、②「平和学習」で訪れる広島に向けて、国語や社会、数学、音楽等の教材で①②にからむ授業を同時期に導入し、多角的に学び深めていく取り組みを行っています。</p>
<p><b>湘南白百合学園</b></p> <p>中1～高1の「総合的な学習」の時間枠で実施しています。</p> <p>中3の例を挙げます。</p> <p>①「環境」に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらい…身近な事柄から実験・観察を通じて環境問題を検証する。</li> <li>・取り組み…生徒一人ひとりが環境に関するテーマを選び、〈仮説〉→〈実験による検証〉→〈考察〉→〈レポート作成〉→〈パワーポイントによるプレゼンテーション〉→〈英文アブストラクト作成〉までを1年間かけておこなう。</li> </ul> <p>②新しい「物の見方・考え方」のプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組み…横浜弁護士会の8名の弁護士を外部講師として招き、「1週間のグランド割り」を、4つの部活動(架空のもの)でいかにして合意に至るかというワークショップ</li> </ul>
<p><b>昭和学院</b></p> <p>中学校の授業を中心に全教科で「自立心」を育む指導方法の研修、工夫を重ね、少しずつ実践しています。また、HR活動、生徒会活動、校外教育、学校行事においても、PDCAサイクルシステムを採用し、教育活動全般で活性化を図っています。</p>
<p><b>昭和学院秀英</b></p> <p>「海外語学研修」高1、120名、16日間、アメリカスポークーン市、ホームステイ(目的)「異文化体験」を通じて主体性、積極性、異文化理解を学び、「国際的に活躍できるグローバル人材」への基礎知識を身につけさせる。その中で「総合学習プログラム」を実施している。</p> <p>①チームビルディング</p> <p>②ユース・カルチュラルデイ、ティーンズパネルディスカッション</p> <p>③環境保護問題、地域社会や地球環境問題についてのディスカッション</p> <p>④コミュニティリーダー訪問(グループをテーマごとに分け、それぞれのテーマについての専門家の人達を訪問し、取材。取材内容を発表。</p> <p>⑤アメリカ、テーマパーク体験</p> <p>⑥コミュニティ・サービス(地域・公共社会の発展のための貢献活動(ボランティア)など</p>



## 女子学院

### 【英語】

＜中学英語＞ リーディングマラソン（多読）

図書館に洋書を置き、生徒が自由に読み、記録をつけていく。中1では12月～3月で45冊を読むことを目標としているが、200冊以上読む生徒もいる。学年が上がるごとに洋書の難易度も上がるので読む冊数は減るが、かなりの量を読んでいる。図書館の洋書はすべて読んだからということで、教員に個人的に借りにくる生徒もいる。

＜中学英語＞ 自由英作文ノート

文法やスペリングのミスを気にせず、自分の表現したいことをどんどん書きためていくノート。中1では「自己紹介」から始まり、中3では「日本の名所・旧跡を紹介する」というテーマなどを書いていく。イラストをつけたり写真を貼ったり、工夫して楽しく取り組む生徒が多い。

### 【数学】

＜中3 数学＞ 夏休みの課題として 数学関係の本を読んでレポートにまとめる

学校の図書館にある数学に関する本のリストを配布、リストに載っていない本でもよい。教科書とは異なった角度から数学に触れることで視野が広がり、興味・関心も深まる。また、自分で本（テーマ）を選ぶことで、独自性や個性が発揮される。

＜中1 図形＞ 夏休みの課題として 正十二面体、正二十面体の作成

展開図を印刷した厚紙を配布する。空間・立体を把握する力を養う。折り紙でさまざまな立体を組み立てて提出する生徒もおり、自発的に学ぶ力にもつながる。

### 【国語】

＜高2 現代文＞ 作家・作品研究

教科書掲載のものを中心にしたリストから、それぞれが選んだ作家、詩人、歌人や俳人、韻文・散文作品を調べてレジュメを作成し、20分程度の発表を行う。質疑応答およびコメントシートで評価、のちに作家論・作品論として提出する（原稿用紙5枚以上）。

＜高2 現代文＞ 夏休みの課題として 新聞から社会問題を考える

取り組みたい時事問題のテーマを決めて新聞記事の切り抜きを継続して行い、その背景や問題点を考察し、掘り下げてまとめる（原稿用紙4枚以上）。

テーマ例：安全保障法案、戦後70年、TPP問題、ギリシャ危機、医療問題

<中学国語> 夏休みの課題として 聞き書き作文（原稿用紙5～8枚）

中2ではおもに保護者を取材して「職業体験の聞き書き」。職業について調べ、インタビューの仕方を工夫して、作文にまとめて提出する。

中3では祖父母や親戚などの戦争体験者の話を聞く。歴史や時代考証も配慮しながら「戦争の聞き書き」として3人称でまとめる。

<中3国語> 中学校生活の集大成の一つとして クラス劇

脚本選択から演出・スケジュール管理・演技指導も自分たちで行う。

<中1国語> （高2までの各学年も同様、特に中1は）1年を通して調べ学習と発表に取り組む

例：「詩」のビブリオバトル、漢字を作ってみよう、広辞苑サーフィン、手作りかるた

### 逗子開成

●各教科・科目の授業において（教科・学年・担当者の創意工夫）

かねてより「読解力・思考力・表現力」を養い、総合的な学力をつけてきた。

知識の習得を基本としながら、考えを深めていく場面や表現する場面をICTの活用やグループワーク、発表やプレゼンテーションを通じて養う。「学習の手引き（逗子開成システム手帳）」を用いたセルフマネジメントと自学自習の習慣確立を目指す。

●海洋人間学（文科省教育課程特例校） 海と人との関係・教科横断型の総合的教育活動

\*学校の立地条件を有効に活用し、自然の力を体感し、知恵を使い、自分一人でやり遂げる力や他者とともに考え協力する力を養う。

\*社会科・理科・保健体育科・技術家庭科・総合学習など教科横断型の教科。

\*東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターとの提携による「海洋人間学」の展開とパフォーマンス評価の開発

- ・中学1～3年 OP ヨット帆走実習
- ・中学1年 OP ヨット製作実習
- ・中学3年 遠泳実習（28年連続全員完泳）
- ・中学1～3年 海洋学特別講義

→「海洋学と社会の接点」「数値シミュレーションで学ぶ津波の原理」「うなぎの大回遊の謎」「月が導く深海の流れ」

海洋研究…海洋学特別講義を起点とする研究

●探究と表現に主眼をおいた総合学習人間学と好奇心を育む多彩な土曜講座

中学1年広げる：コミュニケーションスキル 見る力・聞く力・話す力

中学2年究める：意見を言う力 テーマ研究とディベート

<p>中学3年見つめる：自己探求プログラム ニュージーランド研修での異文化体験</p> <p>高校1年進路探究：世界を見つめ生き方を探る</p> <p>総合学習型人間学テキスト「世界が抱える100の問題」「交渉学講座」「デザインシンキング講座」</p> <p>高校2年集大成：アジア研究旅行</p> <p>全学年、自由選択性の土曜講座 本校教員・保護者・大学・企業・外部の専門家を講師とした全100講座以上の特別授業</p> <p>*高校2年選択必修 キャリア（産学連携）講座と学術（大学連携）講座</p> <p>●豊かな感性へと導く映画鑑賞</p> <p>校内に映画館と同等の施設を持ち、各学年とも年2回の映画鑑賞を実施。上映映画は放課後に一般性とのために再上映。上映作品は様々な国の幅広いジャンルから選定。鑑賞後は作者の意図や表現方法について意見をまとめ、意見交換などをする。</p> <p>●自主的な生徒会運営と体育祭・開成祭の本格的な企画運営組織</p> <p>以上のような本校独自の特色ある教育内容により、多くのことに興味関心を持ち、多様な意見やものの見方を知り、時代や状況の変化に対応できるような人物を育成する。</p> <p>校名の由来ともなっている「開物成務」の気概をもって、時代を切り拓く人材を育成する。</p>
<p><b>聖学院</b></p> <p>中1～高3まで</p> <p>○総合学習、理科、社会（中3はクエストカップでグランプリ受賞）英語、数学など</p> <p>○基本的にどの教科でも、双方向型やPBL、PILを取り入れた授業ができるように、教員の研修を大きく小さくグループでも教員同士が「学び合い」をしています。教師の意識改革!! これが重要です。</p> <p>○本橋、児浦、伊藤が引っぱっています。伊藤は10/30に全国大会で発表します。</p>
<p><b>成蹊</b></p> <p>★国語</p> <p>○中1 コミュニケーション能力育成事業採択プログラム 演劇的手法を用いたワークショップ授業</p> <p>架空の職業についている人の資料を基に、自分たちがその仕事に従事していると仮定して、他の人に自分たちの仕事をアピールするCMを作って発表する。</p> <p>○中学全学年 夏休みの宿題 「文学レポート」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中1 日本の文学者または文学作品に関連する場所を訪ね、レポートする。</li> <li>・中2、中3 日本の文学者または文学作品に関する本を一冊読み、それに関係する場所</li> </ul>

を訪ねてレポートする。レポートにまとめたものを授業内で発表する。

○高2 現代文

夏休み中に読書感想文を書いた夏目漱石「こころ」についてグループでテーマを決め、資料収集し、まとめて、クラスで発表する。個人レポート（意見感想文）としてまとめる。

○高3 現代文

森鷗外「舞姫」を読み、グループで輪読を行い、それを元に各自で作品に関する意見感想文を書き上げる。

○高3 現代文

「ジョハリの窓」を学び、他人は知っているが自分は知らない「盲点」を自他ともに認識している「解放」に向かうための「思考や表現力」を学ぶ。

★数学

○中1 絶対値の大小、倍数の見分け方、負×負＝正、循環小数が有理数であること等のテーマでアクティブラーニング。

○全学年 やり方をすぐ教えるのではなく、まず考えさせアイデアを募る。結論に至る理由について考える宿題を出し、授業で発表。グループ分けして、ポスター発表もできたら行う。

★生物

○中1

「植物の世界」実験室で花の観察。→野外で図鑑を使って野草の名前調べ。→実験室で校内樹木を図鑑づくり。→野外で自分の図鑑を使って樹木の名前当て。

○高2 生物基礎

受容力と表現力の補完としてキク科の舌状花のスケッチ。

様々な可能性をさぐる。勘を働かせ模索し選択する。その中でもっとも美しいものが正解である。自然選択とはそういうもので、これが科学の流れだと伝えるようにしている。

★物理

○中2、高1、高3 ほぼすべての授業。

なるべくあっさりとした短時間の講義と、生徒が自分で考え出した解き方でお互いが助け合う問題演習で授業を構成している。

**★化学**

○中2

年間を通しての実験。実験ノートの作成。

**★英語**

○中1 クイズ作成"What am I?"

○中2 夏休みの予定を語る"My Ideal Trip"。将来の夢を語る "My Dream"

○中3 国紹介や商品紹介を設定してコマーシャルを作る"30 秒 CM"。自分の大切なものを発表する"My Treasure"。

○帰国生特設英語クラス ブックレポート

○高1 英文要約アウトプット。多読。

○高1 ケンブリッジ大学生1人に班6-7人で日本文化について紹介。

○高2 「バイオミミクリー」の読み物を読んで、各自異なるバイオミミクリーの例を探して、英語で発表。多読。

○高2 カウラ（オーストラリア）の高校生との交流。成蹊の生徒1-2対カウラ生1人、のペアで「広隆寺の阿修羅像」についての説明。

**★美術**

○中3 修学旅行事前学習。「笑いと仏像」をテーマにインスタントなイメージ画作成。

○高1 課題によってテーマを提示し、コンセプトシートを記入し、その表現に至った理由を言葉で表現する。

**★体育**

チーム競技では、最後は練習内容も自分たちで考えてくるように指導、自分たちのチームの課題を分析し、解決法を考えさせている。

自チームの分析から、練習、戦術を考え、実行させることで、体を動かしながら頭を使い、より考える力が身につく。

### ★家庭科

○中1、中3 班での調理実習と、その献立を家で作る家庭学習

○高2 ほぼ毎回、新聞やVTR視聴でレポート作成し、よいものをフィードバック。家族・保育、食品添加物、農薬、栄養の知識など、生活に密着したテーマを取り扱うことで、理想と現実のギャップに気づかせ、どう判断するかを迫る。

自分や身近な人だけでなく、地球の裏側にいる人たちの生活にも思いをはせる想像力を養う。

### ★国際教育委員会

○エンパワーメントプログラム 自分の将来になりたい職業や仕事について全員の前で英語で発表。

○ケンブリッジ短期研修 発表などのアウトプット。毎日、英語で日記を書くタスク。事前研修もあり。

○イングリッシュシャワー ブリティッシュカウンシルにて2日間の英語ワークショップ

○海外の学校との交流 韓国・デンマークなどの学校が来校して交流する際、英語を使ってアウトプットしたり、英語で成蹊の紹介をしている。

なお、これらは教員にとってアンケートをもとにしておりますが、これですべてを網羅できているわけではありません。

### 聖光学院

本校で行われている具体例としては、下記のような取り組みが挙げられます。いずれも、特に「アクティブラーニング」を意図してのものではなく、本校では以前より行われている試みです。(学年の状況や担当教員により、他の形になることもございます。)

<国語> (中学中1中2あたり)

・「読書紹介」という形で本の紹介を発表。教員、学年の状況によって「読書習慣の推進」を重視するか「発表の完成度」を重視するかが異なる。

<国語> (高校高1あたり)

・問題演習の際に、グループごとに相談して正解を作成、根拠と共に発表。

<数学> (高校複数学年)

・問題演習の際に前に出て板書、解説、それを受けて最良の解き方について議論。

<p>&lt;英語&gt; (中学中3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライティングの際に、グループで文章作成。リーダー役の生徒が中心になって推敲を行う。</li> </ul> <p>&lt;英語&gt; (高校複数学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で次々に質問し、それに英語で答える。全員を巻き込む雰囲気とテンポ作り。</li> <li>・プロジェクターを使って数名の生徒の添削課題答案の共有とそれを受けての答案作成。</li> </ul> <p>&lt;理科&gt; (中学複数学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中1の理科Iで二時間続きの授業を組んでいます。1時間目で実験、2時間目で考察と検証。</li> <li>・夏の自由研究の発表(例「動物の分類」(1学期授業)→「動物についての調査」(夏休み)→「各人による発表」(2学期授業)。</li> </ul> <p>&lt;社会&gt; (中学中1中2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中2で中学修学旅行での訪問先の寺院などをグループごとに事前調査して発表。</li> <li>・中1の地理の導入時に貿易ゲーム的なものを行う。</li> </ul>
<p><b>成城</b></p> <p>8月の中旬に、中学3年～高校2年の希望者を対象に「エンパワーメント・プログラム」を実施しています。カリフォルニア大学の学生を本校に呼び、本校の生徒5人に対し1人がついてもらって一緒に企画・議論・発表を、すべて英語で行います。全員というわけではありませんが、これが現在の「成城版アクティブ・ラーニング」の1つといえると思います。</p>
<p><b>聖セシリア女子</b></p> <p>●中学2年生の英語の授業「イングリッシュエクスプレス」</p> <p>英語芸術学校マーブルズとの連携による「イングリッシュエクスプレス」が4年前から開講されています。</p> <p>「英語で自分を表現する」ことを目標に英語の歌を歌い、英語の台詞を覚え、ダンスも加えて、仲間とともに年2回、英語でのミュージカル発表を行います。</p> <p>語学とともに、表現力や協調性を育むプログラムです。</p>
<p><b>星美学園</b></p> <p>来年度に向けて、すべての教科で取り入れるカリキュラムを作成中。現在、模擬授業や研究授業などをして、検討中です。</p>
<p><b>成立学園</b></p> <p>本校では「アースプロジェクト」として、様々な本物に触れる体験を通じて学習意欲向上に繋がる教養を身につけさせています。</p> <p>●「ナショナルジオグラフィック」を使った取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子を読むことで世界の多様な文化を知る。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークの中で、自分たちで設定した課題に対して、協力して解決策を探求する。</li> <li>・プレゼンテーションを行い、発進力を養う。</li> </ul>
<b>青稜</b>
ICT の本格導入に向けて、主に社会科・英語科において、iPhone、パワーポイントを用いて授業を展開している。
<b>聖和学院</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語科 中高とも、英語でのスピーチ・プレゼンテーションに力を入れて取り組んでおります。とくに中学3年では、「スピーチコンテスト」を催しております。</li> <li>・国語科 中学1年次より、「表現」の授業とカリキュラムに取り入れております。今夏のビブリオバトル関東大会（中学）では、本学院の生徒が準優勝をいただくことができました。</li> </ul>
<b>専修大学松戸</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●アメリカ2週間修学旅行 3年生（全員） 6月中旬～7月初頭 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校オリジナル</li> <li>・現地のサマースクールに現地の中学生と一緒に参加</li> <li>・サマースクールの内容は、工作、ミュージカル、生物の解剖、工学的な工作、PCプログラム、野外活動等さまざま。</li> <li>・ホームステイと現地大学の寮生活</li> </ul> </li> <li>●ISAプログラム 3年生（全員） 7月 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の大学に在籍している、主としてアジアの留学生が中心となり、すべて英語による、班ごとのコミュニケーション形式で進める。</li> <li>・テーマ：自己分析⇒将来の仕事や夢</li> </ul> </li> <li>●ランチタイムアクティビティ 全学年 通年 <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休みに班ごとに分かれて、日常の英会話を楽しみながら、ネイティブ教員と一緒に弁当を食べる。</li> </ul> </li> <li>●ユメイク 3年生 1学期 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部大学生が中心に、班ごとにバズセッションとプレゼンテーション形式で実施。</li> <li>・テーマ：自己分析⇒将来の夢</li> </ul> </li> <li>●オリエンテーション合宿 1年生 4月 <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワーク ・講演 ・英会話 ・ものづくり ・クラス討論 等</li> </ul> </li> <li>●行事各種 全学年 通年 <ul style="list-style-type: none"> <li>・田植え ・稲刈り ・能体験 ・競技かるた体験 ・地元博物館見学 ・鎌倉班別探索 ・首都圏大学訪問 ・先輩と語る会 等</li> </ul> </li> </ul>



<p>●各授業 全学年 通年</p> <p>・班ごとの新聞づくり ・班ごとのポスターづくり ・グループによるプレゼンテーション 等</p>
<p><b>洗足学園</b></p> <p>生徒と教師の対話・探究型授業を導入している。今年の中 1 から英語はオールイングリッシュで行う。国語をはじめいくつかの教科で以前からプレゼンやディベートを取り入れている。</p>
<p><b>玉川学園</b></p> <p>対象学年：全学年 科目：自由研究 教員：全教員</p> <p>特色：玉川学園が掲げる「自由自律」の精神を具現化するのが自由研究です。教科学習や芸術、スポーツ、語学など広い分野からテーマを一つ決め、生徒が自発的に1年間を通して研究に取り組み、研究論文を書きます。教員からアドバイスを受けながら、自らの計画に沿って研究を進めます。1年ごとに研究テーマを変更することも可能ですが、継続的に研究を行い、将来の進路につなげることを奨励しています。中学1・2年生（7・8年生）は、国語、社会、数学、理科、英語など、教科学習をベースとした研究テーマが中心になります。中学3年生（9年生）では、高校1年生（10年生）からの自由研究を進めるにあたって必要なスキルを習得する「学びの技」を1年間履修します。さらに高校1～3年生（10～12年生）では、更に深い学習をベースにしたテーマを各自が選択し、研究に取り組みます。</p>
<p><b>玉川聖学院</b></p> <p>総合学習の時間は基本的に双方向授業を実践している。また、高等部の選択科目にも問題解決型学習は数多く導入されているが、本校の特設科目であり、23年間にわたって実践してきた「総合科・人間学」について報告したい。</p> <p>対象学年は高1、高2全員必修で、週あたり各2時間ずつを配置している。（1時間を総合学習、1時間を学校特設科目に配置して、評価もつけている。）</p> <p>担当教職員は1時間の授業に3人ずつが配置され、グループディスカッションや分かち合いに参加している。主に、学年教師及び教科の専門性を生かした教師を配置している。また、ゲストも多く、様々な視点から問題を把握していく能力を養っていく。</p> <p>内容は、高校1年では、テーマとして「16歳の私を考える」とし、自己アイデンティティの確立を目指した学びを行っている。「何のために学ぶのか」「自分の特性をどう理解するか」「他者とともに生きるとはどういうことか」「異なった文化環境への理解」「自己をどう洞察するか」などをテーマに、「今の自分」を掘り下げていく授業を展開している。形式は、講義のほか、「体験を経験化する話し合い」「グループディスカッション」「読書</p>

発表」「分かち合い」などの時間が多く、正解は一つではなく、自らの考え方を深めていくプロセスを大事にしていく。

高校2年では、同じように3人ずつの教師が参加し、「誕生から死までのそれぞれの発達の課題」を見据えながら、一つ一つの課題を通して「本当の自分になっていくプロセス」を学習していく。ここでも、少人数での話し合い、討論、発表、聞き取りレポートの発表、グループ読書発表、などの課題も多く、徹底的に「分かち合う」授業を展開していく。

このような2年間の経験を通して、「自分で考える力」「発表する力」「討論を通して考えを深めていく力」「発表のための段取り力」などを身につけていくとともに、「自尊感情」が高められていくように思われる。

### 千葉明德

本校では設立以来、「まとめて書いて発表する」をカリキュラムの中核に位置づけており、それがまさに「21世紀型学力」に当たるものであると考えております。そのことを踏まえて、今年度より、公立中高一貫型の適性検査入試を実施することになりました。以下に、「まとめて書いて発表する」の取り組みについてご紹介いたします。

「発掘課程」（中1・中2）では、生徒にアクティブな場면을積極的に提供しています。まず「1分間スピーチ」は、毎朝、朝の会において、日直が「小学生時代の思い出」「文化祭にむけて」……など、設定されたテーマについて1分間でスピーチをします。これは毎日のことですから、すべての生徒が1年に7～8回、スピーチをすることになります。

つぎに各行事や、さまざまな学習活動をとおして、「新聞」を作成することを日常化しています。具体的には、校外理科研修、芸術鑑賞会、修学旅行、夏休みの課題など、また、ふだんの授業で取り上げた時事問題や実験などについて、まとめの振り返りの作業として、A3用紙1枚の用紙に「新聞」に仕上げます。例えば、「理科研修新聞」「修学旅行新聞」「消費税増税新聞」「～実験新聞」などで、単に文章だけで表現するのではなく、スケッチや図など、全体のビジュアルを考えて作成するものです。

「新聞」は個人の取り組みですが、さらにグループワークとしては、5月に行われる、浅草かつば橋の個人商店をグループで訪問・インタビューをして、それを模造紙に仕上げ、プレゼンテーションをするという、「職業インタビュー」があります。全員で模造紙を作成して、それを口頭で発表するというコンテストを実施します。

こうしたグループワークの取り組みは「発掘課程」（中1・中2）の中心に位置づけられる「土と生命の学習」において成果として表れます。「土と生命の学習」は1年間の農作業を通してテーマを見出し研究するというものですが、生徒はグループごとに、夏休みを挟んでテーマ（イネの生態、稲作文化、田端を取り巻く環境、食について、など）を設定して、模造紙を仕上げ、それを文化祭で発表するという取り組みです。

その他の授業でも発表や討論など、生徒のアクティブな場면을多く取り入れています。そして、これらの取り組みの集大成が、中3で実施する「課題研究論文」です。1年間

かけて、自らのテーマを設定し、論文（10,000 字以上）を作成し、それを発表します。指導にあたっては、あくまで「論文」ですので、単なる調べ学習に終始しないように促しています。問題設定があり、それに対する仮説を立て、それを検証することで結論に導くという作業において、オリジナルな方法（調査・データなど）によって、オリジナルな論理を構成して、オリジナルな結論に導くことを促します。

#### 田園調布学園

本校では 65 分授業の特性をいかし、すべての教科・授業でアクティブラーニングを導入した協同探求型授業を実施しています。

また、リベラルアーツ教育の土曜プログラムや他社との触れ合いから人間性を育てる学習体験旅行も実施し、すべての教育活動をとおして、思考力・表現力と主体性・社会性を融合させた 21 世紀型スキルを培うように努めています。

#### 桐蔭学園

今年度から「アクティブラーニング型授業」を導入しています。

①対象学年：中学&中等 1 年・高校 1 年&中等 4 年

⇒今後 3 年間で全学年に展開していく予定

②科目：英語・数学・国語・社会・理科

③特色：今年度からのアクティブラーニング型授業の導入にあたっては、生徒の学びの質をより高められるように、AL 研究の第一人者である京都大学の溝上慎一教授を本校教育顧問として招聘し、授業をプロデュースしていただくことにいたしました。能動的な授業参加を通して「学ぶ力」を育むことは、現在検討が進む新しい大学入試制度にも対応できる学力の育成にもつながると考えています。そして、大学進学後も社会に出た後も、目標を持って大きく伸びていく人材を育てることにつながると、私たちは考えているのです。

#### 東京純心女子

学んだことだけを使って生きていくのが困難な時代を歩まなければならない生徒たちにとって、自分らしく幸せに生きていくためには、変化に呼応して「自ら学び、変わることができる力」を持っていることが重要です。

自分に足りないスキルは何で、それはどうすれば解決できるかを、自ら発見し行動できる人材であること。

「何を学んだか」よりも「学び方を知っていること」こそが、これからの時代をしなやかに生き抜くために必要なことだと考えます。

本学では、教科が習得させたい教科目標と教科共通の基礎・基本となるスタディ・スキル（情報の集め方、メモのとり方、まとめ方、発表の仕方等）を図書館の目標として掲げて、スタディ・スキルは中学 1 年生から中学 3 年生まで少しずつ難度を上げながら、教科横断で繰り返し習得させるように組み立てています。以下は、その一例です。

中学 1 年生/社会（世界地理）/世界の国調べ/中村剛教諭＋司書教諭

<p>中学2年生/宗教/マザー・テレサ新聞作成/鵜池あさえ教諭+司書教諭          中学2年生/音楽/ベートーヴェン・レポート/山下彩教諭+司書教諭          中学2年生/家庭/食材レポート、食材PRポスター作成/倉田幸子教諭+司書教諭          中学3年生/社会(現代社会)/時事問題スピーチ/中島英宣教諭、廣松景子教諭+司書教諭</p>
<p><b>東京女学館</b></p> <p>国際学級ではネイティブ教員の授業を中心にアクティブラーニング型の授業を展開しておりますが、学校全体としての取り組みには至っておりません。国際も含め。現在アクティブラーニングについては、校内で検討中です。</p>
<p><b>東京成徳大学</b></p> <p>2003年より「総合的な学習」の時間を利用して「自分を深める学習」という本校の「教育理念」をより実践化するための授業を行っている。対象は中3、高1、高2の全コースで行い、中学は宇田川教諭主導、高校は野中教諭主導で行っている。大きなテーマは「自分とは何か? どう生きるべきか?」という哲学的なテーマがあるが、「自分自身を見つめ、社会の中での自分の在り方、生き方について考えてみよう」に向けて、具体的な教材を考案している。13年目を迎え、指導教員も10人を超えてきた。月に一度の教科会では教材の検討や生徒の反応について話し合っている。「教材の内容を、生徒が自分自身の問題として自ら考え、他者の意見に耳を傾け、『自分の生き方の礎を模索する』試みである。</p> <p>13年間で蓄積したシラバスも、より進化したと自負している。タイムリーな課題にもうまく適応している。「学力養成」というよりは「自己存在に想いをめぐらし、本質的な問題へと向かう基礎づくり」と位置づけている。</p>
<p><b>東京電機大学(高校)</b></p> <p>本校高校生を対象として、希望者だけの参加ですが、ジュニアアチーブメントさんにご協力いただく行事があります。「ヤマト運輸高校生経営セミナー」や「知の甲子園」に積極的に参加させています。前者は、ヤマトの社員の方にアドバイスを受けながら、テーマに沿ってグループでビジネスプランを企画し、経営陣の方の前で、プレゼンを行わせていただいています。後者は、MESEを用いた選手権です。</p>
<p><b>桐光学園</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中1～中3英語           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイティブの教員による「英会話」の授業を実施しています。</li> </ul> </li> <li>●中2歴史・中3公民           <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なぜこの地に平安京が造営されたのか」等のテーマに対し、ジグソー法を用いた協同的学習によって生徒それぞれが解答を考えていく取組みを授業に取入れています。</li> </ul> </li> <li>●高1社会と情報           <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で企業と連携したインターンワークをおこない、毎年3月には「プレゼングランプリ」を開催して優秀作品の発表をおこなっています。</li> </ul> </li> </ul>

<p><b>桐朋女子</b></p> <p>高3 総合社会特講 森・但馬担当</p> <p>ディベートやグループ活動を多く取り入れています。</p> <p>今年度の取り組みの例としては、漫画家として活躍している卒業生を招き、漫画を描くポイントを訊く。その後、売上げ数を上げる工夫なども考慮し、ストーリー（作品）をグループで考えてプレゼンテーションを行う、といったことを現在行っています。</p>
<p><b>トキワ松学園</b></p> <p>1. 英語とLS 中学1～3年</p> <p>1年生 テレサ・木村</p> <p>2年生 マリアン・松本 マリアン・木村 セーラ・松本</p> <p>3年生 セーラ・平山</p> <p>(特色) ペアワーク・グループワーク、タブレット・電子黒板の使用、調べ学習・発表、外部のネイティブ（英語圏以外）の人を招きインタビューしまとめを発表 など</p> <p>2. 英語（GS）高1～高3</p> <p>1年 テレサ・セーラ 3年 テレサ・岩谷 2年 テレサ・佐藤</p> <p>(特色) ペアワーク、グループワーク、調べ学習・発表</p> <p>→Global Studies（GS）の授業で、新聞記事をスクラップし、記事の要約を英作文します。そして、世界で起こっている様々な社会的な問題の背景を学び、知識を得ながら、その問題についての自らの考えをまとめていきます。そして、それをレポートにまとめて発表します。この学習は、大学受験のみならず、国際的な活躍する力を確実につけ、地球に生きる一人の人間として生徒たちを育てていくことにもなります。</p> <p>※英語（GW）でも同様にペアワーク等行っています。</p> <p>3. 政治経済 高2 関</p> <p>(特色) 企業とコラボレーションして商品開発を行う。</p> <p>→ブレインライティング法などの発想法、KJ法などの収束法なども取り入れて、コミュニケーション能力、想像力や発想力が鍛えられる。</p> <p>2015年度は株式会社ゼブラに協力していただいている。</p> <p>4. 美術 高3 村井</p> <p>(特色) 店舗企画「わたしのお店をプロデュース」</p> <p>→各生徒が自由に「わたしのお店」をプロデュースし、ミニチュアの模型を作ります。さらにはパネルを作成して、みんなの前で「プレゼンテーション」の実習を行います。</p>

<p>5. 生物 高2 日比</p> <p>(特色) 2～3人のグループで研究テーマを決め、実験し、プレゼンテーションを行う。</p> <p>(自由研究テーマ例)</p> <p>「飲み物が動植物に及ぼす害 ～植物と動物(今回は卵)を様々な液体に漬けて数値化する～」</p> <p>「ビタミンCの測定 ～ヨード液とアスコルビン酸溶液からグラフ化、トマトのビタミンC損失率を調べる～」</p>
<p>6. 国語 中1 齊藤</p> <p>(特色) 「友達にすすめる本」</p>
<p>7. 国語 中3 遠山「私が生まれた日」</p> <p>(特色) 新聞の構成を学ぶ。記事の要約をし、書く力、まとめる力をつける</p> <p>※高1で「私が生まれた日」の調べ学習を授業で行い発展させる。</p>
<p><b>土佐塾</b></p>
<p>現在検討はしておりますが具体化したものはございません。</p>
<p><b>中村</b></p>
<p>校長の中1体育の授業に、JETプログラムで来日している英国の女性がTTとなって、英語で『学び合い』を行っています。考え方や手法は西川純先生(上越教育大学)を取り入れています。</p>
<p><b>成田(高校)</b></p>
<p>学校として組織的なものについては現在検討中ですので実施していません。広い意味でのアクティブラーニングについては各教員で実施しています。</p>
<p><b>西大和学園</b></p>
<p>対象学年：高1、高2</p> <p>科目：数学</p> <p>教員名：宮北純宏</p> <p>特色：数学の問題をグループワークにより、iPad等を用いて、協力し、教え合う取り組みを実施。それにより、解放への気づきや理解できていると思っていたことがそれほど理解できていなかったことがわかったりする。少し難しい問題にも挑戦することが可能になるのも良い効果を上げている理由の一つ。</p>
<p><b>二松学舎大学附属柏</b></p>
<p>対象学年：グローバルコース 1年生</p> <p>科目：講座 50分×週2回</p> <p>教員名：三澤 彩加</p> <p>特色：国際理解教育胃の中で、アクティブラーニングを導入しています。</p>

＜フェアトレードについて＞事前学習→CHIBA 国際フェスタ参加→事後学習→役割分担→ポスター作成→ポスターセッション

＜JICA について＞事前学習→JICA 地球ひろば訪問→事後学習→役割分担→パワーポイント作成→プレゼンテーション原稿作成→プレゼンテーション

※調べ学習等においては、生徒同士の情報共有、マインドマップ作成等をさせ、生徒主体の活動をします。教師からの講義形式のスタイルはとっていません。

※この他にも、アメリカ文化（タイトルは自由）について英語でのプレゼン等も行いました。

### 新渡戸文化

ユニット学習

【対象学年】今年度は中学。来年度から高校にも展開予定。

【科目】5教科

【教員名】5教科で実践しているが、先般、英語科岡野宏美教諭が、中高それぞれの学校説明会で中3での実践披露。

【方法】一斉学習でやり方を指示した後、理解や問題を解くスピードの違いによってクラスをグループに分け、レベル別の問題集やプリントを解かせる。クリアしたらより難易度が高い課題に進む。

【特色】ユニットの中で、個人間での「友数え」を生かして個々の事情をメタ認知できるようにし、試行錯誤させる。「友達も同じようなつまづき方をしていることがわかった」「どこで、なぜ、できないのかが見えてきた」「もっと高いレベルの問題を解きたい」など、「気づき」「自己発見」をねらいとした実践。

【参考】ユニットの名称と意図するところ（ユニットは定期試験のたびに再編）。

Earth ユニット…基礎を徹底的に学習。苦手意識・分野を克服。

Galaxy ユニット…標準問題に取り組み、応用問題へのチャレンジを目指す。

Universe ユニット…科目好きの自信を確信に変える。

### 日本大学豊山

対象学年：全学年

科目：英語

教員：ネイティブスピーカー5名＋英語科教員

方法・特徴：フリートalkingプログラム

…毎回、問題や課題を提起し、それらについて英語で話し合う能力を養う。同学年での集合体ではなくて異なる学年の生徒が集まり、様々な会話の展開が期待される。参加希望者は毎回、対象教員が選べ、また、与えられたテーマについて、それらについて主体的に話し合う力を養うことが期待できる。

### 日本大学藤沢

特化したものはございません。

八王子学園八王子
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度より「探究ゼミ」を開講</li> <li>・学際的研究が主眼</li> <li>・無学年制での実施を検討中</li> </ul>
日出
<p>本校では、「アクティブラーニング」を以下の類型に分類し、それぞれの目的に合わせて実施しています。</p> <p>①「協働型」のアクティブラーニング</p> <p>主に通常授業で行い、全教科において実施している取り組みです。生徒が時には教えて、時には教わり、知識を定着させていきます。この型では、単に知識の定着だけではなく、他人と協力して答えを導き出していく、コミュニケーション能力を養っていきます。</p> <p>②「探究型」のアクティブラーニング</p> <p>主に、学校行事と組み合わせて実施しています。生徒が、与えられた課題について、インターネットや本などで自ら調べ、答えを追い求めていきます。そして導き出した答えや自らの考えを、パワーポイントなどを利用してプレゼンテーションする取り組みです。この型では、情報収集・処理能力や思考力、問題解決能力やプレゼンテーション能力を養っていきます。</p> <p>③「体験型」のアクティブラーニング</p> <p>「ブルティッシュヒルズ語学研修」・「イギリス語学留学」などを通して実施しています。現地の外国人に対し、普段の授業で身につけた英語を、実際に使用する機会を設けています。この型では、自己表現力やコミュニケーション能力、主体的学習への意欲向上を図っていきます。</p> <p>このように、一連のアクティブラーニングの実施によって、社会で求められている「21世紀型スキル」能力の育成を図っています。知識を得るだけではなく、得た知識を活用できる能力の育成を図っています。</p> <p>また平成29年度からは、「Inquiry Program」と称する、探究型のアクティブラーニングに特化したプログラムを展開する予定です。この「IP」では、「思考力」・「判断力」・「表現力」を身につけることを目的とし、生徒自身が物事を「考察」し、その考えや取り組みを「プレゼンテーション」する内容を展開していく予定です。</p>
日出学園
<p>対象学年：中学3年生などを中心に</p> <p>科目：英語</p> <p>教員名：石川 茂</p> <p>特色：生徒に答えを黒板に書かせるだけでなく、解説をし、質問を生徒たちから受け付ける。</p> <p>教員が行うよりも質問が多く出る。教員は質問に対応できない場合のみ対応をする。</p>



(いずれは生徒自身に苦手単元の問題を作成させ上記のようなことを行う予定である。)
<b>広尾学園</b>
<p>① インターナショナルコース 中学1年～高校3年        主要5科目において、ディスカッション、プレゼンテーションを中心とした授業を展開。外国人教員12名が担当。</p> <p>② 医進・サイエンスコース 高校1・2年        数学において、反転授業を展開。数学科の堀内教諭が担当。</p>
<b>藤村女子</b>
<p>中学3年生、社会、武市忠司、「会社をつくろう！」        Tシャツ製作会社をグループごとに起業し、資本金やお店の立地、販売するTシャツのデザイン等を考えて、実際にTシャツを作る。Tシャツのファッションショーと会社のプレゼンを実施する。</p> <p>高校1年生、芸術選択音楽、砂山瑞穂、「ボーカロイドで作詞作曲」        ボーカロイドを使用し、2学期の授業で作詞作曲を行う。各自発表し、良かった作品は全員で合唱を行う。</p>
<b>武相</b>
<p>教員個々の授業実践の中では、各自が研究しつつアクティブラーニング的な手法を取り入れようと工夫してはいますが、まだ学校として組織的に取り組む段階には至っておりません。</p>
<b>武南</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒全員にiPadを持たせ、授業や行事では調べ学習やプレゼンテーションの資料作成に使用している。</li> <li>・FWを多用し、pre学習では調べ学習・post学習ではレポート作成やプレゼンテーションなどを必ず実施。</li> <li>・批判的思考力を育成するために、定期的に講座を開催している。</li> <li>・二年生ベトナム研修では、JICAにお世話になりODA研修を実施。</li> <li>・毎日の振り返りの時間ではPDCAサイクルを学習させ自立学習者を育てる為にビジネス手帳のフォーサイトを利用している。</li> </ul>
<b>文化学園大学杉並</b>
<p>中学校の1～3年で行っている、英語のチームティーチング授業はペアワークやグループワークを駆使したアクティブラーニングを数多く取り入れています。</p> <p>中学校の国語では、「少年の日の思い出」や「走れメロス」の読解に『演劇』の手法を取り入れたドラマエデュケーションを取り入れる学年があります。</p> <p>高等学校のダブルディプロマコースでは、海外校分のほとんどの授業が「受信→調査・思考→発信→検証」というサイクルの欧米型授業で成り立っています。宿題や課題、それらのヒントが発信されるため、生徒はMacBookが手放せません(笑)。</p>

<p>また、同コースでは「Co-teaching」と呼ぶ日本とカナダの両教員による「協働授業」を行う教科もあります。世界中にあるブリティッシュコロンビア（BC）州の海外校の中でも、現地の教員と BC 州の教員がチームを組んで行う授業は「初の試み」です。一つの内容（教科内容）を 2 つの言語（日本語と英語）で学ぶことでどのような効果が出るか、BC 州教育省でも注目している先進の授業法です。</p>
<p><b>文教大学付属</b></p>
<p>高2 現代文 荒木泉子</p> <p>南北問題に関する文章教材を理解した上で、それに関するテーマ学習として映像教材を見て、その後先進国と途上国に関するディベートを行った。「先進国による途上国の援助は新たな貧困を生む結果につながるか」というテーマで調べ学習をして、チームリーグ戦として優勝を決めるまでディベートをした。</p>
<p>高3 英語表現 豊嶋正貴</p> <p>教科書のトピックから 1 つの好きなテーマを選び、動画などを入れた Prezi を用いてプレゼンを行う。「文教 TED」として 1 グループ 20 分のプレゼンを行い相互評価をした。英語は JET プログラムの派遣チューターにチェックしてもらい、プレゼンでもコメントをもらった。</p>
<p><b>宝仙学園理数インター</b></p>
<p>本校は、次年度創設 10 周年を迎えます。次年度より、教科「理数インター」を中学校教育課程の中に位置づけ、アクティブラーニングを通常授業として展開します。</p>
<p><b>三田国際学園</b></p>
<p>アクティブラーニングを本校では「相互通行型授業」と呼んでおります。</p> <p>全学年、全教科・科目、全教員がすべての授業で行っております。</p> <p>授業の冒頭、単元の重要なテーマに対して、興味関心を引き出す教員の投げかけるトリガークエスチョンから始まります。生徒はこの問いかけに知的好奇心を刺激され問題解決に向けて思考を始めます。教員は論点を整理し、議論を導きながら、生徒自身で考えることをサポートするファシリテーターとなります。学習の展開は、次のような流れで行われます。</p> <p>生徒は、タブレット端末を用いて情報を収集しまず自分の意見をまとめます。そしてクラス全員の考え・思考の過程を共有、さらに情報を精査して、自らの考えを組み立てます。その後グループで話し合い、納得できる意見を再構築してきます。まとめとして導き出した結果をプレゼンテーションし全員で共有します。</p> <p>本校はすべての授業においてこれらのプロセスを通して、グローバル社会で必要とされる思考力・判断力・表現力を育成しています。</p> <p>21 会のリーダー校である三田国際学園は、大橋清貫学園長の掲げるビジョンを全教職員が共有し、21 世紀型教育を推進しています。</p>

<p><b>武蔵野</b></p>
<p>本校独自の英語プログラム「LTE (Learning Through English)」</p> <p>対象：中1～高3</p> <p>科目：英語</p> <p>教員：外国人教師 (B.パーカー)</p> <p>特色：当然ながら授業はオールイングリッシュ。生徒たちは毎日英語のシャワーを浴びることになります。しかし、ただ聞くだけではありません。授業の進め方はグループワークやディスカッション、そしてプレゼンテーションが中心となっていて、生徒たちが「英語を話す」ことで初めて成立する形になっています。</p> <p>課題探求→意見の共有・整理→まとめる→自分の考えや意見を発表する、という学習のサイクルを、「英語を通じて」身につけていきます。</p> <p>「下手でもいい、とにかく使う。」これが英語を聞く・話す能力を高める近道ではないでしょうか。</p>
<p><b>武蔵野東</b></p>
<p>21世紀型学力とは「自己決定力」と「あらゆるジャンルを超えた探究心・実行力」であると考えています。そういった力を養成するのは、学年や教科に限定された教育の機会ではなく、学校全体の取り組みであり校風ではないかと思えます。本校の教育において特徴的なものは以下の事柄です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学1、2年生 研究活動</li> </ul> <p>→テーマを決めて約1年間をかけて研究・発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸行事を生徒主体で企画・運営する。(学園祭ほか)</li> </ul> <p>→中高一貫校ではない本校は、中3がリーダーとなり、予算を決めて実行している。</p>
<p><b>明治学院</b></p>
<p>1) 中学校 英語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年でペアワークでの英単語練習を行っている。</li> <li>・中学2年生では、協同学習の手法を用いて、英文やターゲットとなる学習項目を理解するグループ学習を行っています。</li> </ul> <p>2) 高1 現代社会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司法書士の方に来ていただき、講義を聴いた後、ワークシートを用いてグループ討論を行い、2学期には、グループプレゼンテーションを行う予定。</li> </ul> <p>3) 高校2・3年生 アカデミックリテラシー</p> <p>(アカデミックリテラシーは、明治学院大学への推薦コースに所属する生徒の必修授業。リサーチ方法や、討論、検索の仕方やレポートの書き方などを学んでいます。高3では、6つのゼミから自分の志望する学部学科に関するものに所属し、自分の興味あることを深め、卒業研究を行う授業です。)</p>

・様々なテーマでディベートを行う。生徒はグループに分かれ、チームでテーマに関して主体的に調べてディベートの本番に臨む。

・経済に興味がある生徒のゼミでは、日経ストックリーグ（模擬株式投資）を行い、模擬投資の体験をし、最終的にレポートにまとめ、ゼミ内で発表する。

### 明星

中学校3年生を対象に、タブレットを使用した研究発表に向けた取り組みを実施予定

### 明法

本校には学校設置科目として『21世紀』という授業があります。この授業は、高2・高3の文系生徒向けの選択授業で、オーストリア3ヶ月留学を軸としたGSP（グローバル・スタディーズ・プログラム）の一環として設置されています。

高2ではオールイングリッシュの英語とファイナンスなどを学ぶ社会科（公民科）のコラボ授業、高3では国際系学部入学を目指す入試対応授業も含めた英語授業が展開されます。

英語科・社会科の教員の他、本校英会話授業のオリジナルテキストも作成しているALTが担当しています。

授業の特色としては次の3つが挙げられます。1つ目は、ゼミ形式であること。その中で、「CNNstudentNews」を活用したディスカッション、ロジックツリーやマインドマップを用いたイノベーションの事例研究が行われます。2つ目は、ICTを活用したアメリカの高校生との交流。Skypeなどを活用してディスカッション、イノベーションのケーススタディなどを行います。3つ目は、年数回実施される民間のビジネス・パーソンによるワークショップ。外部講師の方をお招きして、マーケティング・ケーススタディなどを通じて、「問題を発見し、解決策を考え、アイデアを出し合う」実践を行っています。2015年度は、高校3年生が、日本政策金融公庫主催の「第3回高校生ビジネスプラン・グランプリ」に挑戦します。

この授業を通じて、3ヶ月の留学で身につけた英語力を維持しつつ、「21世紀型」の素養を高めつつ、新たな付加価値を創造していく「イノベーション力」を有し「地球益」を追求できるイノベーターを養成することを目指しています。

### 目白研心

<事例 I >

【教科】 Communication English I

【担当】 森岡浩希

【学年】 Super English Course 高1

【環境】

生徒は全員 iPad を持ち教室には黒板はなく、電子黒板が設置されている。教材は SMRT というカナダの会社が開発した WEB 教材

**【特色】**

教材を教員のパソコンから生徒の iPad に配付。問題を解いて教員に提出。電子黒板に生徒の解答を表示。解答の違いを生徒に考えさせ、発表し合いながら授業を進める。

**【効果】**

自分の答えと他人の答えを視覚的に比較できるため、その違いから様々な気づきがある。

## &lt;事例Ⅱ&gt;

**【教科】** 数学Ⅱ

**【担当】** 星野稔

**【学年】** 高2 特進コース 理系

**【特色】**

教師が本時の目標を提示。(今日はこの問題を全員が解けるようになる！)

例題を教師が解説することなく、生徒が自身で例題を解き、そのまま問題演習を実施。終了した生徒は躓いた生徒を教える。(事前に解き方ではなく考え方を教えるよう指導しておく)

授業の最後に本時の目標レベルの確認問題を実施。総合採点、振り返りを行う。教師は状況を見守りつつ、解説の仕方が著しくおかしい場合にはアドバイスをを行う。

**【効果】**

教師が解説しないということが、「何とか自分で理解しなくては」という意欲につながり、例年理解できない生徒がいる曲線束やベクトルの軌跡においても全員が理解していた。教える側の生徒も解き方ではなく考え方を教えるという作業により、頭の中が整理できたり、新たな発見があったりという効果があった。

## &lt;事例3&gt;

**【教科】** 特別授業

**【担当】** 森岡浩希

**【学年】** Super English Course 高1

**【授業例】**

二学期最初の授業で、イノベーションコンサルタントの山口高弘氏をお迎えし、一日を通して「デザイン・シンキング」を学びました。

デザイン・シンキングとは、これまでのやり方では新しい発想を生み出すことに限界があるので、発想の起点を生活者である人間において、新しい問題を発見してゼロベースから発想しようとする手法です。たとえば、ヒートテックが生まれるきっかけになったのは、「冬も薄着をしておしゃれをしたい」「冬は暖かく過ごしたい」という矛盾した人間の要望をかなえることにありました。今回 SEC が取り組んだのは、矛盾を越えるアイデア

を出すトレーニングです。

生徒たちは4グループに分かれ、それぞれの班で課題を見つけ、本当に実現したかった矛盾を含んだ問題を見極め、アイデアを出し合いました。そしてそれらを統合して自分たちの解決策を見出しました。

この作業を通して、生徒たちは"矛盾に立ち向かい、課題を見つける重要性""水面下に隠れている本当のニーズの見つけ方"を学び、「議論の発散」や「議論の収束」といったファシリテーションの手法も自然に練習することができました。本気でグローバル人材を育てる目白研心の挑戦の一つです。

**【生徒の声】**

固定観念に囚われず物事を考えることや、アイデアよりもそれに対する課題の方が重要だということを学んだ。最初の方は良いアイデアを出すことをがんばっていたが、最後の方はアイデアの量に注意していた。物事の本質を見抜くことに注意したい。(高1男子)

大切なことは、アイデアではなく課題だということに驚いた。今まではアイデアを最初に搾り出そうとしていたが、これからは課題がわかってからアイデアを考えたい。今回、私は頭が固いので、アイデアを考えることに努力した。私は「自分がダメだ」と考えがちだったが、最後の方に「それは自意識過剰ということだ」と言われて、はっと思った。これからは目線をもっと外に広くして、物事を見ていきたい。(高1女子)

**安田学園**

21世紀型学力（「思考を活性化する学習形態」アクティブラーニングを含める）

1. 教科：総合学習（人間力）、対象学年：全学年、教員名：担任

**【特色】** 実践力・人間関係形成力

独自テキスト「人間力をつける」にて、善次郎翁の考え「陰徳を積む」「至誠勤儉」について学び、信念に基づいた克己心が大切であることを理解する。

2. 教科：総合学習（ライフスキル）、対象学年：中1・中2、教員名：担任

**【特色】** 実践力・社会参画力

グループコミュニケーションとして各テーマについて対極で話し合う。

3. 教科：探究、対象学年：中1～高2、教員名：専門スタッフ

**【特色】** 思考力・問題解決・問題発見力・創造力・論理的・批判的思考力

自分の疑問に対し、仮説を設定し調査・観察・実験などの検証を行い、豊かな議論・対話を通し「根拠を持って論理的に考え、自分の言葉で表現する」探究力を育てます。

4. 教科：クエスト、対象学年：高1、教員名：専門スタッフ

**【特色】** 思考力・問題解決・問題発見力・創造力・論理的・批判的思考力

クエストエデュケーションプログラムに参加し、企業からの「ミッション」を自ら体験しながら、社会や経済の仕組みに触れるとともに、働くということの意義や楽しさ・大変さを、実感をもって学ぶ。

5. 教科：課外授業、対象学年：中1・中2、教員名：ネイティブ

【特色】基礎力・言語スキル

授業外でも英語を使用する機会として、昼食時グループランチ、放課後個人トークタイムを実施。

6. 教科：授業・行事、対象学年：全学年、教員名：多数

【特色】授業で答えるときに、理由を添えることを習慣化。

家庭学習前提の授業で生徒全体の活気ある授業を行い、記憶を深め知識を確たるものになっている。

行事も探究の要素を組み入れ、事前・事後学習を実施して、複合的な知識の必要性や、興味関心を持てるよう指導している。発表には、パワーポイントを使用し、情報メディア能力もつけている。

#### 横浜雙葉

中1～高2 総合学習

ティームティーチング（中2と高2は5名・その他は3名）

20年ほど前、本校の大切にしている人間教育を、宗教の授業だけではなく、体験活動などを通して、また、外部講師などの協力も得て、生徒が主体的に取り組み、実際に行動し表現できるように導いていきたいと考え、本校の総合学習を始めました。それがアクティブラーニングであったわけです。その土台には、その前の10年間に進めてきた高1特別科目、高3特別科目があります。

学内の体制としては、総合学習委員会を立ち上げ、中1から高2まで、5年間を通してどう進めていくべきかを話し合い、協力し合いながら、力を入れて進めてきました。担当教員自身が研修に参加し、研鑽を積み、指導に当たることも多くあります。

#### 早稲田大学高等学院

「総合的な学習の時間」「選択教科」（1年～3年）

教科の枠を超えた課題を取り上げ、各々がテーマを決めて調査・研究し、成果をまとめ発表できるよう指導する。また、英語を中心とした諸外国圏の文化、歴史、言語などについて学ぶ機会を設けている。

#### 和洋九段女子

中学2年生 歴史

歴史の考古学分野の導入にお店のレシートを使い、使用したのはどのような人（年齢・

男女・家族構成など)かを想像し、話し合わせて発表させる授業を行っています。また、『蒙古襲来絵巻』にその絵からわかることを書き込ませて発表し、戦いの様子を想像させる取り組みも行っています。 担当 水野

### 和洋国府台女子

#### 【国語】

中学1年 中澤美紀 教諭

「ワールドカフェ」(アニータ・ブラウン、デイビッド・アイザックス) 話し合いの手法として

「ホワイトボード・ミーティング」 話し合いの内容を可視化し、全体で共有  
ビブリオ(読書紹介)活動 発表、紹介 POP 作成

中学2年 明石東子 教諭

プロジェクト学習(古典) ドラマで再現名場面(多角的にストーリーを捉えるためのロールプレイ的手法)

#### 【理科】

中学3年 天野俊治 教諭、尾形英範 教諭

課題研究 3年間で学んだ知識を使い、生徒自身がテーマを決め、実験、観察を行うレポートにまとめ、ポスター作成、ポスターセッション実施

#### 【社会】

各学年、自分が興味を持った出来事等について自ら課題設定、調査、発表

中学1年 土田尚樹 教諭、西脇智弥 教諭 身近な地域を調べる

中学2年 土田尚樹 教諭 身近な歴史を調べる

中学3年 西廣修吾 教諭 現代社会の課題